SONY®

3-281-694-**02**(1)

Bluetooth® ワイヤレス オーディオアダプター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth®

HWS-BTA2WA

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

⬇

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

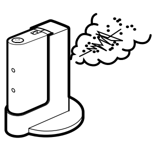
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡
1. **電源を切る**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
3. **ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠危険　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

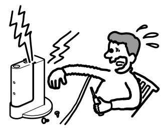
火の中に入れない

禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などへ放置しない

禁止

⚠警告　火災　感電

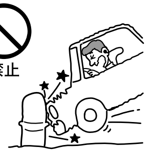
下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

交通安全のために

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は絶対に本機や接続機器を接続・設置したり操作したりしない。
- 運転中に接続機器の画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本機を使わないでください。

禁止



⚠警告


火災


感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

運転操作や車体の可動部、エアバッグシステムの動作を妨げる場所には設置しない

事故や感電、火災、けがの原因となります。

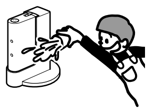
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブル類をはさみ込まない。
- ケーブル類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。


禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。


禁止

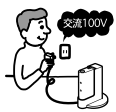


この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。

交流100 Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

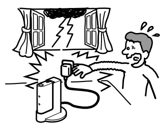

指示



雷が鳴りだしたら、ACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

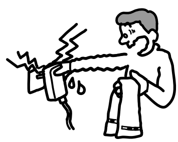

接触禁止



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。


ぬれ手禁止



次のページにつづく

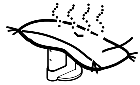
⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ミニディスク、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。


禁止

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。


プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。


指示

Bluetooth機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

2.4FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

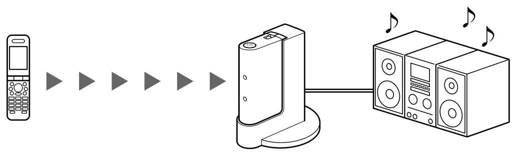
Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

こんなことができます

本機は、Bluetooth（ブルートゥース）無線技術を使用した受信機または送信機として、2通りの用途でご使用いただけるワイヤレスオーディオアダプターです。
お手持ちのオーディオ機器を使用して、Bluetooth無線技術によるワイヤレスオーディオ伝送（送受信）を楽しめます。

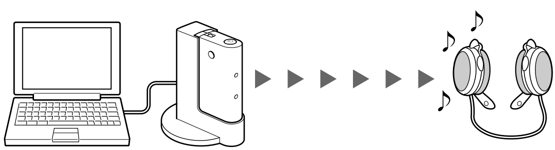
受信機として

Bluetoothワイヤレスオーディオ送信機能に対応したオーディオ再生機器（携帯電話やデジタル音楽プレーヤーなど）* からのステレオオーディオ信号の受信機として使えます。
本機では、ワイヤレスで受信したデジタルオーディオ信号を通常のアナログオーディオ信号に変換して出力することで、本機に接続したお手持ちのオーディオ機器（ステレオコンポやラジカセなど）で音楽を楽しめます。



送信機として

Bluetoothワイヤレスオーディオ受信機能を持ったオーディオ機器（カーステレオやステレオヘッドセット、ステレオミニコンポなど）* への送信機として使えます。
本機では、お手持ちのオーディオ機器（パソコンやデジタル音楽プレーヤー、携帯電話など）から入力されたアナログオーディオ信号をデジタルオーディオ信号に変換して、Bluetooth機器にワイヤレスで伝送して音楽を楽しめます。



ヒント

別売りのカーバッテリーコードDCC-E84またはDCC-E245を使うと本機を車の中で使うことができます。例えば、本機にデジタル音楽プレーヤーをつないで音楽を送信し、Bluetoothワイヤレスオーディオ受信機能を持つカーオーディオで音楽を受信するなどの使いかたができます。

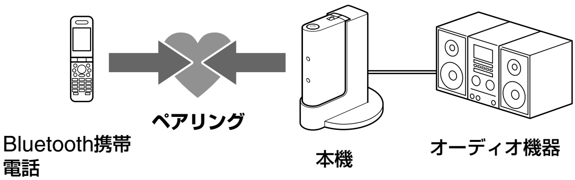
* 接続するBluetooth機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

受信機として使う

ここでは、音楽再生機能に対応したBluetooth携帯電話から送信する音楽を本機で受信し、本機に接続したオーディオ機器で聞く場合を例として説明します。

ペアリングする

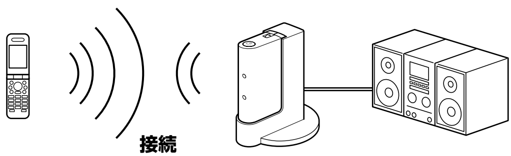
Bluetooth携帯電話と本機を接続相手として登録します。



詳しくは15ページと17ページをご覧ください。

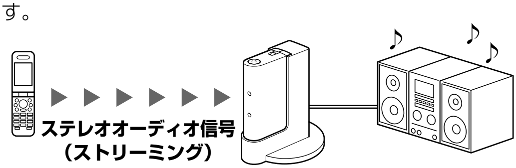
Bluetooth接続する

Bluetooth携帯電話を操作して、本機を検索しBluetooth接続します。



音楽を受信する

Bluetooth携帯電話で再生した音楽を、本機とつないだオーディオ機器で楽しめます。



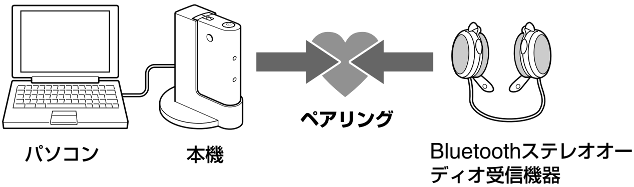
詳しくは19ページをご覧ください。

送信機として使う

ここでは本機に接続したパソコンで再生する音楽を、Bluetooth通信機能に対応したステレオオーディオ受信機器（ヘッドホンやステレオコンポなど）で受信して聞く場合を例として説明します。

ペアリングする

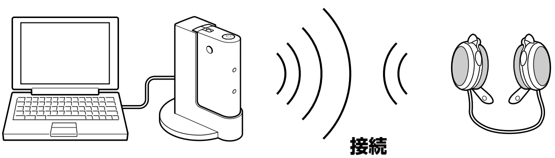
Bluetoothステレオオーディオ受信機器と本機を接続相手として登録します。



詳しくは15ページと21ページをご覧ください。

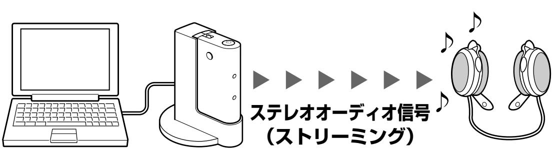
Bluetooth接続する

本機の電源を入れると、自動的にBluetoothステレオオーディオ受信機器へBluetooth接続します。



音楽を送信する

本機に接続したパソコンで再生した音楽を、Bluetoothステレオオーディオ受信機器で楽しめます。

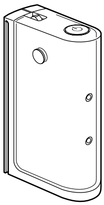


詳しくは22ページをご覧ください。

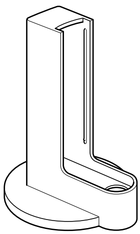
本体と付属品を確かめる

本機をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください。

- Bluetooth ワイヤレスオーディオアダプター（1）



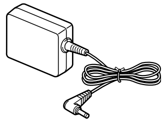
- スタンド（1）



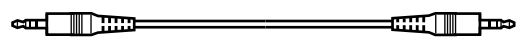
ヒント

スタンドの使いかたは、14ページをご覧ください。

- ACパワーアダプター（1）

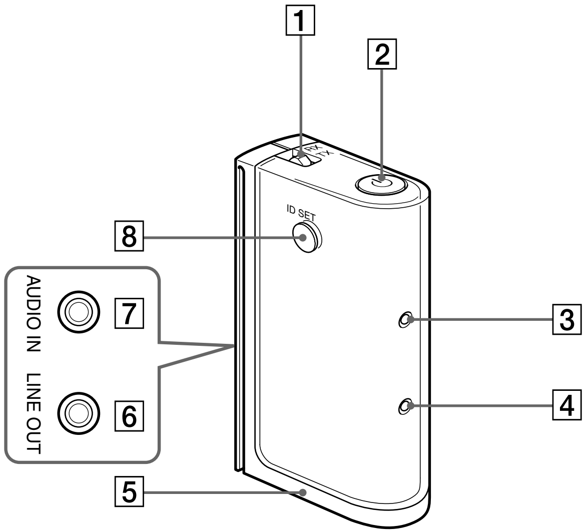


- 接続ケーブル（ステレオミニプラグ ⟷ ステレオミニプラグ）、1.0 m（1）



- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

各部の名前とはたらき



1 **TX/RX（送信/受信）切換スイッチ**

送信/受信の切り換えに使います。

2 **⏻（電源）ボタン**

本機の電源を入れるときに押します。本機の電源を切るときは少し長めに押します。

3 **⏻（電源）ランプ**

4 **Bluetooth（通信状態表示）ランプ**

5 **DC IN 4.5 V端子**（ディーシーイン）

6 **LINE OUT（音声出力）端子**（ラインアウト）

オーディオ機器などのLINE IN端子につなぎます。

7 **AUDIO IN（音声入力）端子**（オーディオイン）

オーディオ機器やパソコンなどのヘッドホン端子につなぎます。

ご注意

LINE OUT端子にはつながないでください。音がひずむことがあります。

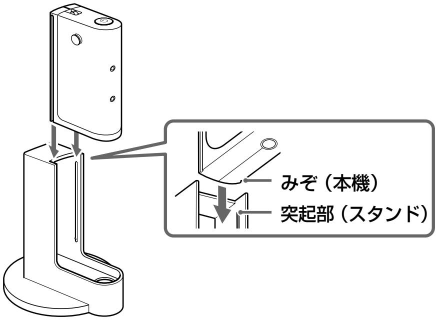
8 **ID SET（ペアリング）ボタン**（アイディーセット）

他のBluetooth機器とペアリングするときに使います。

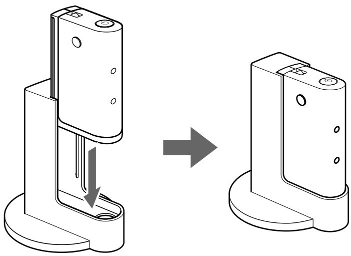
スタンドの使いかた

本機を縦に置いて使うには、以下の方法でスタンドを取り付けます。

1 本機のみぞをスタンドの突起部に合わせる。



2 本機が止まる位置まで、本機をスタンドの突起部に沿ってスライドさせる。



ご注意

- スタンドを使用しない場合は、金属製の机などの上に本機の側面を横にして使わないでください。
- 環境条件によっては車内が高温になる場合がありますので、車内ではスタンドを使わないでください。

ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。
  本機は送信側と受信側のBluetooth機器を合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。（28ページをご覧ください）

ペアリングの手順は、17ページ（受信機として使用する場合）または21ページ（送信機として使用する場合）をご覧ください。

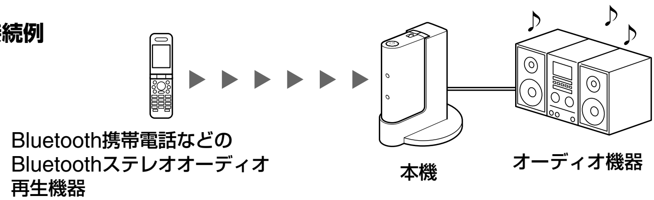
本機のランプ表示について

状態	⏻ ランプ（緑）	Bluetooth ランプ（青）
電源オン	点灯	消灯
ペアリングモード	点滅	点滅
接続中および伝送中	点灯	点灯

受信機として使用する

Bluetoothステレオオーディオ再生機器で再生する音楽を受信します。

接続例

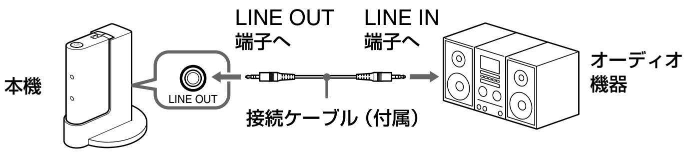


ご注意

接続する機器の使いかたについて詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

準備する

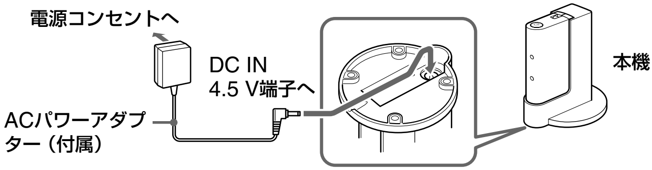
1 付属の接続ケーブルで、オーディオ機器などのLINE IN端子と本機のLINE OUT端子を接続する。



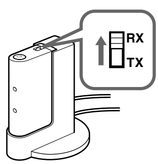
ヒント

本機をオーディオ機器のピンジャックと接続する場合は、別売りの接続コードRK-G129をお使いください。

2 付属のACパワーアダプターを、本機のDC IN 4.5 V端子に接続する。



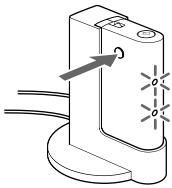
3 TX/RX切換スイッチをRXに切り換える。



ペアリングする

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
– TX/RX切換スイッチがRXに切り換わっている。
– 本機が電源に接続され、⏻ランプ（緑）が消灯している。

1 ID SETボタンを 7 秒以上押し続ける。



本機の⏻ランプ（緑）と Bluetooth ランプ（青）が同時に点滅し始めたらボタンを離してください。本機がペアリングモードになります。

ご注意

本機のペアリングモードは、約5分で解除されます。手順が完了する前に本機の電源が切れてしまった場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

2 Bluetoothステレオオーディオ再生機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

検出した機器の一覧がBluetoothステレオオーディオ再生機器の画面に表示されます。本機は「HWS-BTA2WA」と表示されます。
「HWS-BTA2WA」と画面に表示されない場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

ご注意

- ペアリングするときは、両方のBluetooth機器を、1 m以内に置いてください。
- 機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。

3 Bluetoothステレオオーディオ再生機器の画面に表示されている「HWS-BTA2WA」を選択し、決定する。

次のページにつづく

4 Bluetoothステレオオーディオ再生機器の画面でパスコード*の入力を要求されたら「0000」を入力する。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 接続相手のBluetooth機器からBluetooth接続してみる。

お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続を開始する場合があります。
正しく接続できると、⏻ランプ（緑）とランプ（青）が両方とも点灯し、ペアリング情報が本機に記録されます。

ご注意

Bluetooth接続が完了する前に本機またはBluetoothステレオオーディオ再生機器の電源を切った場合、ペアリング情報が記録されず、ペアリングが完了しません。

検出した機器の一覧を表示できないBluetoothステレオオーディオ再生機器や画面がない機器とペアリングするときは

本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器の両方をペアリングモードにすることでペアリングできる場合があります。詳しくは、お使いのBluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順**1**から行ってください。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**1**～**5**を繰り返してください。

ご注意

本機のパスコードは「0000」に固定されています。パスコードが「0000」でないBluetoothステレオオーディオ再生機器とペアリングすることはできません。

受信する

本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、本機で聞くことができます。

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
– TX/RX切換スイッチがRXに切り換わっている。
– Bluetoothステレオオーディオ再生機器のBluetooth機能が有効になっている。
– 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器のペアリングが完了している。

1 **本機の⏻ボタンを押して電源を入れる。**

2 **本機と接続したオーディオ機器の電源を入れ、外部入力に切り換える。**

3 **Bluetoothステレオオーディオ再生機器から本機へ、Bluetooth接続を開始する。**

4 **Bluetoothステレオオーディオ再生機器で音楽の再生を始める。**

ご注意

バスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっている場合、音がひずむ可能性があります。

ご注意

以下の場合、もう一度Bluetooth接続をする必要があります。
– 本機の電源が切れている。
– Bluetoothステレオオーディオ再生機器の電源が切れている、またはBluetooth機能が無効になっている。
– 本機またはBluetoothステレオオーディオ再生機器のBluetooth機能がスリープ状態になっている。
– Bluetooth接続が切断されている。

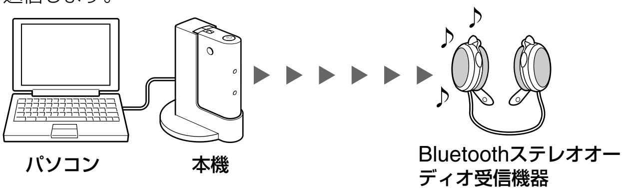
使い終わるには

以下の手順のいずれかでBluetooth接続を切断してください。
－Bluetoothステレオオーディオ再生機器を操作して接続を切断する。詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
－Bluetoothステレオオーディオ再生機器の電源を切る。
－本機の電源を切る。

送信機として使用する

本機と接続したオーディオ機器やパソコンで再生する音楽を、Bluetoothステレオオーディオ受信機器へ送信します。

接続例

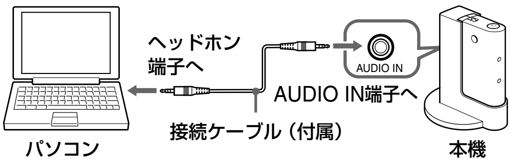


ご注意

接続する機器の使いかたについて詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

準備する

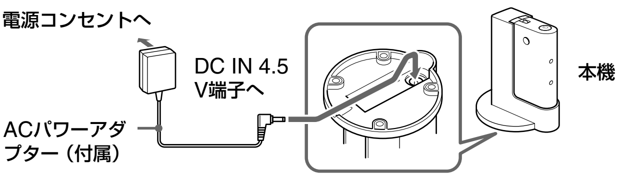
1 付属の接続ケーブルで、オーディオ機器やパソコンなどのヘッドホン端子と本機のAUDIO IN端子を接続する。



ご注意

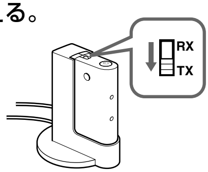
本機は必ず再生機器のヘッドホン端子に接続してください。再生機器のLINE OUT端子に接続すると音がひずむ場合があります。再生機器にヘッドホン出力とLINE OUT出力の切換えがある場合は、ヘッドホン出力に設定してください。

2 付属のACパワーアダプターを、本機のDC IN 4.5 V端子に接続する。



本機を車の中で使うときは、別売りのカーバッテリーコードDCC-E84またはDCC-E245をお使いください。

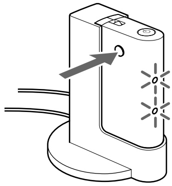
3 TX/RX切換スイッチをTXに切り換える。



ペアリングする

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
– TX/RX切換スイッチがTXに切り換わっている。
– 本機が電源に接続され、⏻ランプ（緑）が消灯している。

1 ID SETボタンを 7 秒以上押し続ける。



本機の⏻ランプ（緑）と Bluetooth ランプ（青）が同時に点滅し始めたらボタンを離してください。本機がペアリングモードになります。

ご注意

本機のペアリングモードは、約5分で解除されます。手順が完了する前に本機の電源が切れてしまった場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

2 Bluetoothステレオオーディオ受信機器をペアリングモードにする。

本機がBluetoothステレオオーディオ受信機器を自動的に検索し、相手機器とペアリングします。
本機は相手機器を検出するとすぐにBluetooth接続を始めます。⏻ランプ（緑）と Bluetooth ランプ（青）が両方とも点灯し、ペアリング情報が本機に記録されます。

ご注意

- ペアリングするときは、両方のBluetooth機器を、1 m以内に置いてください。
- 本機のパスコードは「0000」に固定されています。本機を送信機として使用する場合、パスコードが「0000」でないBluetoothステレオオーディオ受信機器とペアリングすることはできません。

＊ パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順**1**から行ってください。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**1**〜**5**を繰り返してください。

ご注意

お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続する場合があります。この場合、Bluetooth接続が開始されると、⏻ランプ（緑）と Bluetooth ランプ（青）が両方とも点灯します。

送信する

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
－TX/RX切換スイッチがTXに切り換わっている。
－Bluetoothステレオオーディオ受信機器のBluetooth機能が有効になっている。
－本機とBluetoothステレオオーディオ受信機器のペアリングが完了している。

1 **本機の⏻ボタンを押して電源を入れる。**

2 **本機の電源を入れてから5分以内にBluetoothステレオオーディオ受信機器をBluetooth接続待ちの状態にする。**

本機は電源を入れてから5分以内にBluetooth接続できなかった場合は、自動的に電源が切れます。Bluetooth接続が開始される前に本機の電源が切れてしまった場合は、もう一度電源を入れてください。

ご注意

本機を送信機として使用する場合、本機は最近接続した2つの機器へBluetooth接続を試みます。ペアリング済みの機器とBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングを行うか、Bluetoothステレオオーディオ受信機器からBluetooth接続が可能な場合は、接続操作を行ってください。

3 **本機に接続したオーディオ機器で音楽の再生を始める。**

4 **本機に接続したオーディオ機器の音量を調節する。**

音がひずまない範囲でできるだけ音量を上げてください。

ご注意

バスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっている場合、音がひずむ可能性があります。

ご注意

以下の場合、もう一度Bluetooth接続をする必要があります。
－本機の電源が切れている。
－Bluetoothステレオオーディオ受信機器の電源が切れている、またはBluetooth機能が無効になっている。
－本機またはBluetoothステレオオーディオ受信機器のBluetooth機能がスリープ状態になっている。
－Bluetooth接続が切断されている。

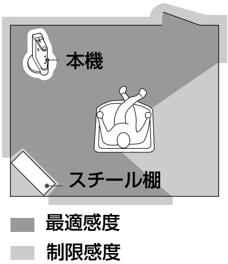
使い終わるには

以下の手順のいずれかでBluetooth接続を切断してください。
－本機の電源を切る。
－Bluetoothステレオオーディオ受信機器の電源を切る。

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。



- Bluetooth通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  - 本機とBluetooth機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
  - 金属製の机に本機の側面を横にして設置している場合
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本機と携帯電話を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
  - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
  - 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、Bluetooth技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機能対応機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

次のページにつづく

取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

次のような場所には置かないでください。

– 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
– ほこりの多い所
– ぐらついた台の上や傾いた所
– 振動の多い所
– 風呂場など、湿気の多い所
– 車内など直射日光の当たる場所

携帯電話と使用する場合のご注意

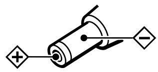
- 本機と携帯電話をBluetooth接続しても、通話に使用することはできません。
- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

車内で使用する場合のご注意

- 本機、オーディオ出力機器やカーラジオの接続作業および機器操作は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。
- エンジンを切ったままで使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。ご使用の際は、必ずエンジンをかけておいてください。
また使用しないときは、本機に電源を供給しているDCアダプターをシガレットライターソケットから抜いておいてください。
- 本機を使用しないときは、DCアダプターをシガレットライターソケットから抜いて、本機や本機に接続した機器が運転操作や可動部の妨げにならないように保管してください。
- 車が急ブレーキをかけた際に、本機および本機に接続した機器が動かないようにしっかりと固定してください。
- 本機に接続された全てのケーブルは、運転操作や可動部の妨げにならないように設置してください。
- ケーブル類を強く引っ張らないでください。断線、故障の原因になります。
- 車内は高温になることがありますので、スタンドを使わないでください。

付属のACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  – ACパワーアダプターを棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  – 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。
- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。
コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずACパワーアダプター本体をつかんで抜いてください。

その他のご注意

他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

Bluetooth技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使う*こともあります。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

* 本機では一度に複数の機器を接続することができません。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン：
Bluetooth標準規格Ver. 2.0準拠

対応Bluetoothプロファイル：
– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

受信機として使用したとき

音が出ない

➡ 本機とオーディオ機器が正しく接続されているか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器の電源が入っているか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器が正しくBluetooth接続されているかどうか確認する。
➡ オーディオ機器の音量が小さすぎないか確認する。
➡ Bluetoothステレオオーディオ再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、Bluetoothステレオオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器を再度ペアリングする。

音が小さい

➡ Bluetoothステレオオーディオ再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、Bluetoothステレオオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ オーディオ機器の音量を上げる。

音がひずむ

➡ Bluetoothステレオオーディオ再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、Bluetoothステレオオーディオ再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

送信機として使用したとき

音が出ない

➡ 本機とオーディオ機器が正しく接続されているか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ受信機器の電源が入っているか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ受信機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ受信機器が正しくBluetooth接続されているかどうか確認する。
➡ Bluetoothステレオオーディオ受信機器の音量が小さすぎないか確認する。音量の調節については、Bluetoothステレオオーディオ受信機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ オーディオ機器の音量を、音がひずまない範囲でできる限り大きくする。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ受信機器を再度ペアリングする。

音が小さい

➡ オーディオ機器の音量を、音がひずまない範囲でできる限り大きくする。
➡ Bluetoothステレオオーディオ受信機器の音量を上げる。音量の調節については、Bluetoothステレオオーディオ受信機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

音がひずむ

➡ オーディオ機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、オーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

➡ 本機のAUDIO IN端子がオーディオ機器のLINE OUT端子に接続されていないか確認する。
本機は必ずオーディオ機器のヘッドホン端子に接続してください。オーディオ機器のLINE OUT端子に接続すると音がひずむ場合があります。

ペアリングした機器や以前接続できた機器に接続できない

➡ 本機を送信機として使用する場合、本機は最近接続した2つの機器へ接続を試みます。ペアリング済みの機器とBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングするか、Bluetoothステレオオーディオ受信機器からBluetooth接続が可能な場合は、接続操作を行ってください。

➡ ペアリング情報が削除された。もう一度ペアリングしてください。

共通

音が途切れたり、通信距離が短い

➡ 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。

➡ 本機とBluetooth機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。

➡ 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。

➡ 本機の位置を変える。

➡ 接続相手のBluetooth機器の位置を変える。

ペアリングできない

➡ 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。

映像より音が遅れる

➡ テレビやDVDを見ている場合、音声が映像より遅れて聞こえる場合があります。

本機を初期化する

本機を工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 **本機の電源が入っている場合は、⏻ボタンを押して電源を切る。**

2 **⏻ボタンを押したまま、ID SETボタンを7秒以上押し続ける。**

⏻ランプ（緑）とBluetoothランプ（青）が同時に4回点滅し、本機が工場出荷設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBluetoothワイヤレスオーディオアダプターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

概要

通信方式
Bluetooth標準規格Ver. 2.0
出力
Bluetooth標準規格Power Class 2
最大通信距離
見通し距離約10 m*[1]
使用周波数帯域
2.4 GHz 帯
(2.4000 GHz – 2.4835 GHz)
変調方式
FHSS
対応Bluetoothプロファイル*[2]
A2DP
(Advanced Audio Distribution Profile)
対応コーデック*[3]
受信時：SBC*[4]、MP3
送信時：SBC
対応コンテンツ保護（受信時）
SCMS-T方式
音声入力
ステレオミニジャック × 1
音声出力
ステレオミニジャック × 1
電源
DC 4.5 V
（付属のACパワーアダプター使用）
最大外形寸法
約17 × 67 × 34 mm（幅／高さ／奥行き）
質量
約26 g
（スタンドおよび他の付属品を含まず）

*[1] 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*[2] Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。
*[3] 音声圧縮変換方式のこと
*[4] Subband Codecの略

付属品

スタンド(1)
ACパワーアダプター（1）
接続ケーブル（ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ）、1 m（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

推奨アクセサリー

カーバッテリーコード：DCC-E84、DCC-E245
接続コード：RK-G129 (ステレオミニプラグ↔ピンプラグ × 2、1.5 m)

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/av-acc）
Bluetoothアクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは

➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

– 型名：HWS-BTA2WA
– 製造（シリアル）番号：本体背面のラベルに記載
– ご相談内容：できるだけ詳しく
– お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-333-020**
携帯電話･PHS･一部のIP電話・・・ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話･PHS･一部のIP電話・・・ **0466-31-2531**

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土･日･祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

* 3 2 8 1 6 9 4 0 2 * (1)